

平成30年度 上田市立菅平小・中学校 学校自己評価後期 アンケートの集計とまとめ NO. 1

【 A…かなりできている(かなりそう思う) B…どちらかというと、できている(どちらかというと、そう思う) C…どちらかというと、できていない(どちらかというと、そう思わない) D…ほとんどできていない(ほとんど思わない) 】

学校教育目標				めざす子どもの姿												今年度の重点目標							
郷土を拓く大地の教育				①自分の良さに気づき、友だちの良さを認め合える子ども ③自ら考え、判断し、行動できる子ども ⑤体験を通して心身を鍛える子ども				②他者への感謝の気持ちを持ち続ける子ども ④伝え合いを通して考えを深める子ども ⑥郷土に誇りを持ち、郷土を愛する子ども				(1) 互いの良さを認め合い、前向きに取り組む学級づくり (2) 自ら進んで学習する子どもの育成をめざす (3) 菅平の産業に学び、郷土に生きる人材を育てる											
領域	対象	評価項目	評価の観点	児童・生徒アンケート				保護者アンケート				教職員アンケート				分析と考察							
				質問内容 (児童生徒の表記は中学生向け)				相対評価(%)				相対評価(%)					相対評価(%)						
				A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D								
				上・上段 小学校前期集計				上・上段 小学校前期集計				上・上段 小学校前期集計											
				上・下段 小学校後期集計				上・下段 小学校後期集計				上・下段 小学校後期集計											
				下・上段 中学校前期集計				下・上段 中学校前期集計				下・上段 中学校前期集計											
				下・下段 中学校後期集計				下・下段 中学校後期集計				下・下段 中学校後期集計											
教育活動	生徒指導	互いに認め合う人間関係	① 相手の良さに気づき、発信しているか。	33	42	22	4	55	41	4	0	71	29	0	0	小学校では、児童・保護者アンケートともに前期と同じような結果でした。中学校の生徒アンケートでは、A回答が減り、C回答が増えています。生徒の自己評価では、仲間の良さを見つけ、伝えるという点で状況が少し悪くなっていると言えます。保護者アンケートでは、C回答が減り、B回答が増えています。中学校では、保護者から見ると、教師が子どもの良さを見つけ励ますという点で、若干の改善が見られます。しかし、A回答も減っているため、まだまだ十分ではなく、改善に力を入れたいところです。 小・中学校ともに、今後も、仲間の良さを見つけ伝えることを通して、温かな人間関係を築くことや、友の頑張りに啓発されて自分も頑張れるような、互いに育ち合う人間関係を作ることに力を入れていきます。							
			② いつでもどこでもだれにでも、さわやかな挨拶ができているか。	55	38	5	2	20	68	12	0	86	14	0	0		児童・生徒アンケートでは、A・B回答を合わせると9割を超えています。学校での挨拶については、個人差はあるものの、概ね良くできていると言えます。 家庭や地域での挨拶の状況については、前期の結果に引き続き、十分とは言えない結果です。特に、中学校の保護者アンケートで、A回答が0%になっています。これからも、児童会や生徒会による挨拶運動を継続して、全校で挨拶を大切にしていきます。また、人とのつながりにおいて、挨拶の果たす役割や、さわやかに挨拶を交わすことの良さを子どもたちへ伝え、いつでもどこでもだれにでも元気に挨拶ができるように指導していきます。ご家庭でも、挨拶がしっかりとできるよう、声掛けしていただければありがたいです。						
			③ 学習のルールを守り、集中して取り組んでいるか。	60	33	2	5	20	66	12	2	40	60	0	0			小学校では、児童・保護者アンケートの両方で、A・B回答の割合は、前期とほぼ同じでした。D回答がなくなり、少しずつ改善してきています。中学校の保護者アンケートでは、A回答が増えています。生徒アンケートでは、C回答が増えています。普段の学習に取り組む様子を振り返って見ると、集中を欠くときがあったという生徒の自己評価です。 指導する側として、教師が学習の決まりをもう一度確認し、児童・生徒がルールを守って、どの子も集中して学ぶことができるよう授業を進めていきます。					
	④ 子どもたちにとって、分かる楽しい授業になっているか。	60	38	2	0	48	50	0	2	40	60	0	0	小学校では、児童・保護者アンケートともに、A・B回答を合わせると、9割を超えています。C・D回答も若干見られます。中学校の生徒アンケートでは、C・D回答はありませんが、保護者アンケートでは、C回答が増えています。多くの子どもたちにとって、分かる楽しい授業になっていますが、そう感じていない子どもたちがいたり、保護者の方がおられたりします。 すべての子どもたちにとって、分かる楽しい授業になるよう、今後ますます授業改善に力を入れていきます。また、個別の指導についても工夫し、改善に努めていきます。									
	⑤ 家庭学習が習慣化し、学習内容の理解と定着に結びついているか。	60	22	13	5	54	40	6	0	20	80	0	0		小学校の児童アンケートでは、A・B回答が8割を下回り、C回答が増えています。中学校では、A回答が減り、C・D回答が増えています。家庭学習の状況が、前期に比べると良好ではなくなっていると言えます。 保護者アンケートでは、小中ともにC回答が増えています。A・B回答が8割を越えていますので、状況が良くないというわけではありませんが、家庭学習の内容や仕方について、教師の指導が十分ではないと感じている方が増えました。 授業での学習内容を定着させるために、どのようなことがらをどのように学習すればよいのか、子どもたちに指導・助言していきます。個別指導も有効に活用し、家庭学習が学力の向上につながるようしていきます。								
	⑥ この地での生活に喜びを感じているか。	84	11	2	4	72	24	4	0	57	43	0	0	小学校の児童アンケートから、多くの子どもたちが、菅平で生活することに喜びを感じています。毎回のアンケートで、同様の結果が得られることは、郷土を愛する気持ちが子どもたちの心の中に育っているということ、とても嬉しいことです。保護者のアンケート結果からも、そのことが分かります。中学校の生徒アンケートでは、A回答が増えているものの、C回答も増えています。菅平で学ぶことの良さを発見し、伝えることができるような活動を通して、郷土を愛する気持ちが高まるのではないかと考えます。 菅平の自然や産業についての理解では、小学校では、A回答が減っています。中学校では、毎回同じような結果であり、理解が進んだり深まったりしているとは言えません。夏の農業体験学習や冬の間のスキー活動を通して、菅平の自然の素晴らしさや、農業やスキーを通して発展してきた菅平の一面を感じ取ってほしいと願っています。そのためにも、それぞれの学年の発達段階に応じて、その子なりのめあてをもって、一生懸命活動に取り組めるように支援していきます。 菅平で生き生きと活動し、豊かに育つ子どもたちを支援していきたいと思っています。									
	⑦ 地域の自然や産業を理解しているか。	42	35	16	7																		
	⑧ 楽しい学校生活	75	18	5	2									70		22	6	2	14	71	14	0	今回も、多くの児童・生徒が「学校が楽しい」と感じていることが分かりました。毎日楽しく学校に通うことができるというのは、とても良いことです。しかし、C・D回答の子もいます。特に中学校では、前期には見られなかったC・D回答が1割を越えました。どの子にとっても、楽しくて魅力ある学校になるよう、子どもたち一人ひとりと真剣に向き合い、その子の心に寄り添った指導を心がけていきます。
	その他	72	23	5	0									74		19	6	0	14	57	14	14	
		52	48	0	0	43	52	4	0	50	50	0	0										
					52	36	8	4	64	32	5	0	63	38	0	0							